

■ 状況別対策2：途中から雨が降る場合 ■

一時的な夕立は短時間にどっと激しい雨が降るので、油断していると一瞬にして全身ずぶ濡れになってしまふ。降り出してからどうするか考え始めても遅いのだ。

実際に雨が降ってきてからではそれこそ傘をさすくらいしか対処のしようがない。しかし例えば屋外で行列中に皆が傘をさし始めると列が乱れるばかりではなく、前に挙げた事故が発生する危険性も非常に高くなる。もし降りだしても慌てずに対処できるよう、朝の時点では晴れていても最初からある程度の雨には耐えられる服装を用意しておこう。

とにかく何があっても濡らしてはならない(笑) 同人誌を収納するバッグや、一旦濡れてしまうと後々までダメージが大きい靴などには完全な防水を心がけて、あとは、濡れても乾きやすい、少しの雨なら通さない服装と装備で対応するしかない。

また、今は携帯でもほぼリアルタイムで天気情報を確認することができるので、少し雲行きが怪しいな、と思ったらすぐに情報をチェックし、降りそうならば濡れては困るものをパッキングし、雨具類をすぐに取り出せるようにしておこう。

(携帯そのものも水に弱い機器なので、ポケットに入れておいたらずぶ濡れになったあげくいつの間にか壊れていたなどということがないように、せめて携帯や財布などを入れておける水の入らないポーチやミニバッグなどは最低限用意しておこう)。

特に女性参加者は雨に濡れて衣服が身体に張り付いたり透けたりしてしまわないよう、着ていく物を十分に吟味されたい。

※それでも万一濡れてしまった場合には、コスプレ更衣室で着替えることができるので覚えておこう(登録料などは当然不要)

■ 雨具の上手な活用法 ■

他のコラムで取り上げている透湿防水素材であれ安価なビニール製であれ、雨具(雨カップ、レインウェア、レインコート、ポンチョ)を快適に着こなすにはちょっとしたコツがある。せっかく用意するのなら、その性能はきちんと引き出してやれば、何より自分が嬉しいのだ。

①着る時には必ず首から肩にかけてタオルを巻く

首の開口部から入りこんだ雨が襟や胸元を濡らすのを防ぐだけでなく、中の湿気を吸収して内部結露を防いでくれる。これをするとしないとは、**雨具内部の蒸れ方、濡れ方が天と地ほども変わるのだ。**

本格的な雨に立ち向かう時やポンチョを着用する際は古いバスタオルなどの中央に頭が入る穴を開けたアンダーポンチョを用意しておき、それを肩の上に羽織ってからポンチョをかぶれば超完璧!

②雨具と肌を直接触れさせない

雨具が肌に直接触れていると、肌から蒸散した汗があっという間に結露して内側がびしょびしょになってしまう。

たとえゴアテックスなどの透湿防水素材であっても、一旦水滴になってしまった湿気は容易に放出できずに中の服を濡らしてしまうし、また、汗とともに皮脂が雨具に付くと、肝心の透湿機能が著しく低下してしまう。内側の湿気は結露させずに水蒸気のままに保つことが大切なので、そのためにも雨具の下には長袖の服を着ておこう。

また、上に挙げた首タオルとともに服そのものが内側の湿気を吸収し調整する役目も果たしてくれるので、繰り返すが服そのものも吸湿性が高くかつ軽い綿100%以外の素材を選択することが望ましい。

薄いTシャツ1枚の上から安価なビニールのレインコートという組み合わせは最悪なのだ。

持って行くなら小さな傘。
でも行列中はささないで!

雨具のフードを被るときはつば付きの帽子も被ろう。

首~肩には
タオルを巻く

カバンは防水の
しっかりしたものを!

時々雨具の前を
開けて換気!